

地域会・支部による「月次決算体制の構築支援」 実践勉強会開催レポート

TKC神奈川会

とき…令和7年11月20日(木)
ところ…横浜SCGサービスセンター

TKC神奈川会は「月次決算体制の構築支援」実践勉強会を支部単位など会員向けの八つの勉強会と、幹部職員対象とに分けて開催している。幹部職員向け勉強会は神奈川研修所長の紙屋司朗会員がリーダーとなって進行している。第2回となる今回は19名が参加した。

関与先経営者にどのように説明しているか共有

第2回のテーマは「FXクラウドの徹底活用」。月次決算体制の構築に向けて関与先企業にFXクラウドの特長ある機能をどうすれば活用してもらえるか



神奈川会(11月20日)

を検討するため、全国会システム委員会監修の二つのオンデマンド動画(「経営者のための月次決算FXクラウド活用術」、「経営者、経理担当者に聞く!私はFXクラウドをこう見る!こう使う!」)を視聴した。紙屋会員から365日変動損益計算書、得意先順位月報、証

憑保存機能などのデモが行われ、参加者から関与先経営者にどのように説明しているか、証憑保存機能をどのように活用しているかの事例が共有された。「巡回監査の際、経営者に積極的に機能を紹介し、まずは見てもらうことが重要」、「あることは知っていたが、関与先に利用を勧めていない機能もあった。大変参考になった」など、前向きな意見が多く挙がった。次回はFXクラウドの巡回監査機能をテーマに開催する予定である。

(神奈川会事務局長 山崎希世視)

TKC北陸会 福井県支部

とき…令和7年12月9日(火)
ところ…福井フェニックスホテル

TKC北陸会福井県支部は、10月から「月次決算体制の構築



北陸会(12月9日)

支援」実践勉強会を開始し、今回で2回目を開催した。冒頭、松岡茂北陸会会長が、令和8年12月末までに減少傾向にある巡回監査の実施関与先数を増やす方針を改めて示した。

月次巡回監査の徹底と 書面添付作成の重要性を強調

今回の勉強会では、福井県支部のトップランナーである中西宏爾会員が講師を務め、テキス

ト『TKC会計人業務の未来設計』の第2部第1章「FXクラウドシリーズと効率的な巡回監査」を解説した。中西会員は、税理士の4大業務を展開するためにも、月次巡回監査とTKCシステムが必要不可欠であることを示し、さらに税理士法第45条で求められる相当注意義務の履行について、懲戒事例を踏まえて解説した。特に、月次巡回監査の徹底と書面添付作成の重要性を強調した。

提出書類の名称については、事務所ルールに基づき「など」や「すべての」は一切使わず限定列挙し、事務所の法的防衛を徹底するための書面添付の記載事例などを具体的に紹介した。

参加者は、事前課題として『TKC会計人業務の未来設計実践ワークシート』に取り組み、今回は、「FXクラウドシリーズを徹底活用し、TKC方式の自動化に取り組みよう！」をテーマに発表と情報交換を行った。現状の事務所のクラウド利用

割合や令和8年12月末までの目標を宣言し、クラウド移行によるメリットが共有された。事務所の取り組み事例や今後の活動計画を議論した。当日は、巡回監査実施関与先数の推移など進捗状況を共有し、参加者同士が互いに高め合う場として当勉強会を形成できるよう、TKC全国会表彰への積極的なエントリを促された。

(福井SCサービスセンター長 栗山直大)

TKC北海道会

とき…令和7年12月12日(金)
ところ…北海道SCサービスセンター

グループごとに開催することで特徴を持たせる

TKC北海道会では、トップランナー12名による勉強会が各地で開催されている。この勉強会は支部単位ではなく、グループごとに開催することで特徴を持たせ、実務に活かしやすくなっている。開催にあたり、各グル

ープでは開催要領を事前に作成しており、着実な意識づけを目指すことが決められている。

菅野浩副会長がトップランナーとなり、6名で構成されるグループにおいて、初回の勉強会が開催された。開催要領を全員で確認し、『TKC会計人業務の未来設計』のテキストについて、菅野副会長よりポイント解説と、問題提起が行われた。それをもとに活発な意見交換が行われ、「テキストの存在は知っ



北海道会(12月12日)

ていたが、今回の勉強会を通して大変良い教材であることをあらためて実感した。」「テキスト内の税務行政3.0の方向性を考慮すると、付加価値業務ができないと税理士事務所の職域が危うくなる」などの声があった。

また、「求人にあたって、税理士という職業を理解してもらうことに苦労することが多い」という悩みに対しては、「税理士の4大業務の図を使うと説明しやすい」という意見が紹介された。

この実践勉強会を後押しするのが、TKC全国会運動方針を地域会で浸透させるために発足された「北海道会MIRRAプロジェクト」である。毎月開催される北海道会正副会長会議で、実践勉強会の開催状況とプロジェクトの進捗が共有されることで、地域会が一体となって実践勉強会を盛り上げながら、勉強会後のフォローに繋がる体制づくりに取り組まれている。

(北海道SCサービスセンター長 丹野宏亮)